

事業計画書

事業名	詰将棋による地域将棋人口の拡大と沼津のにぎわい貢献
実施場所	プラザヴェルデ、第5地区センターほか
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年4月1日 ～ 2021年3月31日

①事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

- ①詰将棋・終盤力向上教室の開催
- ②プロ棋士による将棋終盤力強化教室の開催
- ③詰将棋解答選手権大会の招致

②目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

将棋人口は増加傾向だが、それがイベントや教室などへの参加人数へ直接反映されない。将棋はスポーツや武道などと違い、ネットやゲーム機でプレーできるため地域イベントにわざわざ参加しない人口も多い。これを解決するには将棋大会や将棋教室を増やす以外に新たな視点の将棋イベントが有効。幸い藤井聡太七段の活躍により「詰将棋」というジャンルが認知され始めている。詰将棋の魅力をてこに地域将棋人口拡大とにぎわいへの貢献を果たす。

③実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
2020年1月	事業打合せ、詰将棋解答選手権主催者応募、会場手配
2020年2月	事業打合せ、プロ棋士派遣依頼
2020年3月	事業打合せ（役割分担、段取り決定）
2020年4月	詰将棋解答選手権（沼津会場）、プロ棋士講義と指導
2020年5月	詰将棋・終盤力強化教室
2020年6月	詰将棋・終盤力強化教室
2020年7月	詰将棋・終盤力強化教室
2020年8月	詰将棋・終盤力強化教室
2020年9月	詰将棋・終盤力強化教室
2020年10月	詰将棋・終盤力強化教室
2020年11月	詰将棋・終盤力強化教室、詰め将棋早解き競争イベント
2020年12月	詰将棋・終盤力強化教室
2021年1月	詰将棋・終盤力強化教室
2021年2月	詰将棋・終盤力強化教室
2021年3月	詰将棋・終盤力強化教室、選手権直前対策プロ棋士指導
2021年4月	詰将棋解答選手権（沼津会場）

④事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>①沼津市を県東部の将棋文化発信基地として位置付ける</p> <p>②沼津および周辺地域の将棋人口および詰将棋愛好者人口の増加</p> <p>③地域将棋イベント参加人数の増加と棋力向上</p> <p>④地域の居場所づくり拡大</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>詰将棋解答選手権参加者数+100%</p> <p>上記正答率20%アップ</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>2020年/2021年参加者数と正答率比較</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性・必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>沼津市の将棋愛好人口、約1万5千人が最低限の事業対象者。十分な公益性を持つ。将棋は若年層に対しては発想力、集中力、判断力、思考力、応用力、忍耐力、協調性、礼儀、ストレス解消の効果、さらに右脳教育や情操教育としての必要性も高い。高齢者にはボケ防止や居場所づくりに最適。よって15歳以下の将棋未経験者6千人や高齢者数万人も対象とできる。</p>
地域性	<p>※地域の現状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津夏祭りに合わせて開催している将棋大会の参加人数は過去は170名を超えていたが、近年100名前後で推移し、昨年は三島の夏の将棋大会参加人数を下回った。現在は沼津が静岡県東部将棋界の中心都市と言い切れない。詰将棋解答選手権は県内は静岡市のみで開催され、県東部からの参加者は少ないが潜在的な需要がある。県東部詰将棋愛好者と候補を沼津に集めたい。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>詰将棋というジャンルは将棋終盤力の指標だけでなく、パズル性や芸術性も併せ持つ。藤井聡太七段が小学生のころから詰将棋を得意とし、詰将棋解答選手権5連覇し、詰将棋とともに将棋の実力も向上したことが広く知られている。詰将棋は古くて新しいものとして見直されている。</p>
発展性・継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>詰将棋はネット親和性が高くゲームファンの取り込みが可能、また手軽に始められることで将棋人口の拡大に資すること。詰将棋スキルの向上を継続的に測定できる場（詰将棋解答選手権や教室など）が地域にあればさらに効果は期待できる。</p>
実現性・妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>詰将棋解答選手権開催そのものは資金的にハードルは低いが、単に開催するだけでは人は集まりにくい。広報活動も必要であり、かつ詰将棋を含む終盤力強化教室と詰将棋に精通したプロ棋士による講座を設けることにより参加者数の増加と継続性の明示を図る。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>現在の支部活動は月例将棋大会、沼津夏祭り縁台将棋、将棋フェスタ沼津将棋大会、アマ竜王戦県大会、プロ棋聖戦イベント、仲見世将棋広場、小学生名人戦県東部大会主催、木曜将棋教室、親子将棋教室、初段を目指す将棋教室などだが、さらに詰将棋イベントで活動を広げていきたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

毎年4月に行われる詰将棋解答選手権の参加者及び成績を3年計画で向上させる。またその結果として夏祭り将棋大会の参加人数に増加がみられるかを検証する。

人数の増加による収入の増加やそれ以外の経費節減により、収支を改善する。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。